

■教材・教具 ■聞き合い活動 ■サプライズ ■ニーズの調整 □その他

1 本時のねらい 1/7 時

磁石につくものとつかないものを，比較しながら調べることができる。 (技能)

2 支援の工夫

① ワークシート

- ・ ノートではなくワークシートを使うことで書く量を減らし，考える時間を長くとることができるようにする。
- ・ 予想に対する根拠を必ずしも書く必要がないことにし，考えを書くことが苦手な児童の負担を軽減し，みんなが自分の考えをもって授業に参加できるようにする。（「つく」，「つかない」を文字ではなく，○×の記号であらわす。）

② 付箋

- ・ ものの名前が書いてある個人用の付箋を，各自が発表用の紙の上で操作し，自分の予想をみんなに示すようにする。
- ・ ものによって付箋の色を変えることで，遠くから見ても予想が分かりやすいようにする。

③ 結果の共有

- ・ 各班の予想や結果を，付箋やめくりフリップを使って視覚化して黒板に表す。
- ・ 予想の発表をする時には，発表する班の予想だけが見えるようにして，注目しやすくする。
- ・ 予想が班の中で分かれたものがすぐに分かるように，班番号の下に付箋を貼っていく。

④ サプライズ

- ・ めくりフリップを活用し，楽しみながら各班の結果が共有できるようにする。

⑤ 活動の流れを示す掲示物

- ・ 何をどのような順番で行うか，見通しをもって活動できるように，活動の流れを示した掲示物を示す。
- ・ 活動が済んだら，掲示物は黒板から外し，黒板には必要な情報だけが残るようにする。

⑥ 聞き合い活動

- ・ 友達の考えと自分の考えを比べながら，「つなぐ言葉」を使って，話したり聞いたりするように助言する。
- ・ 付箋を動かしながら自分の予想を説明することで，お互いの考えを比較しやすいようにする。

3 考察

○ 一連の実験を，「自分で予想を立てる→班で予想を聞き合う→全体で予想を聞き合う→実験→結果と考察」という順序で進めてきた。その際課題となったのは，実験後，自分の班の結果が分かると，他の班の結果には興味を示さないことであった。

そこで今回は，実験の結果を予想と同じく班ごとに○か×で記入するだけでなく，付箋で隠して他の班の友達に見えないようにした。

結果が見えないので「他の班はどんな結果になったのだろうか？同じかな？それとも違うのかな？」という気持ちで他の班の結果を最後まで集中して聞くことができた。フリップをめくるたびに，児童からは「同じだ！」「違う！」などの反応する声が聞こえ，この「めくりフリップ」を使うことで，他の班の結果に対する児童の興味が持続できたように思う。

さらに，めくるスピードを速くしたり遅くしたりしたことで，「スピードが変わったから結果が違うのかと思った！」というドキドキ感も味わうことができ，結果の発表方法として効果的だったと考える。

①ワークシート

じしゃくにつくもの調べ

3年 組 名前 ()

初めて

つくー○ つかない…×

調べもの	予想	予想したわけ	結果
スチールたわし			
消しゴム			
10円玉			
スチールかん			
アルミかん			

結果からわかること・感想

.....

.....

.....

②付箋



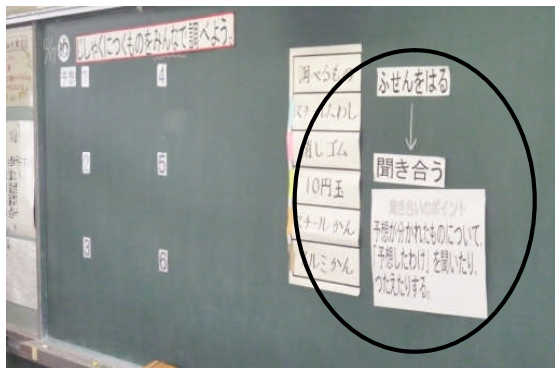
③結果の共有



④サプライズ (めくりフリップ)



⑤活動の流れを示す掲示物



⑥聞き合い活動

